

議会だより



多可町の未来は僕らにまかせとけ - 平成25年成人式 -

12月定例会

- 多可町婚活事業がTBSで2月全国放送決定 ▶ 2
- こんなとない これどうなってるの 10人が一般質問 ▶ 5
- 視察レポート 地域の特徴を活かせ ▶ 16
- 落語「七度狐」の海斗くんにかんぱい ▶ 20

落語「七度狐」の海斗くんにかんぱい



今日も練習にはげむ海斗くん

落語を始めて4年目。めきめき力をつけ町内のイベントでも大活躍の仁尾海斗くん(松井小学校6年生)を訪問してお話を聞いてきました。

クラスで落語を披露

海斗くんは小学3年生頃から落語を始めました。始めた動機はお父さんの車の中で桂文珍さんの「手水(ちよづ)廻し」を聞き、気に入って自分でも落語をしたいと思いい、子ども向けの落語の絵本などで練習するようになりました。

クラスで落語を披露したところ大受けで楽しくなり、本格的に落語を勉強するようになりました。

演目数も6本以上に

八千代プラザでおこなわれている生涯学習講座の大人の方々と一緒に落語の練習をされ、桂九雀師匠の指導を受けています。家でも毎日練習をし、今では演目数も6本ほどあります。子ども芸能フェスタ、地域の敬老会、講座の発表会などの舞台に上がり、年々落語が上達してきています。

度胸も十分

「毎回、舞台上上がるときは緊張しますが、終わる頃には慣れてきます」と舞台度胸も十分です。

日本中に笑いを

海斗くんは「将来は落語家になりたい夢も50%ほどはあります」と言っています。

インタビューの最後に得意の落語『七度狐』を聞かせてもらいましたが、感情を込めての約20分の熱演でした。今後益々落語に磨きをかけて、将来は日本中に笑いを届けてほしいと思います。

編集後記

寒中お見舞い申し上げます。

新しい年が始まり、はや1カ月が過ぎました。町政では、新年度予算に向けた企画を立てている最中です。

また、国政においては、昨年12月の衆議院総選挙において、新しく発足した新政権に期待したいものです。

多可町も合併して8年目を迎えました。町の姿はどう変わっても、主体はどこまでも住民一人一人です。未来を担う子どもたちが生まれ育って誇りに思える「ふる里づくりに」をしていく責任をひしひしと感じています。まだまだ寒さも厳しいおり、住民の皆さまくれぐれもお身体をご自愛いただき、今年も良き年でありますようにご祈念申し上げます。(秋田)

多可町婚活事業

がTBSで 2月全国放送決定



本番にそなえて勉強中

人口減少・少子化に歯止め

合併後7年になります
が、2000人以上も人
口が減少し、少子化も進
んでいます。その原因の
一つでもあるのが、若者
の未婚です。以前から、
多可町商工会青年部が、

毎年男女の「お見合い
パーティー」を開催して
きました。婚活と多可町
のPRを兼ねた「もても
てナインティナイン」の
収録が、1月19日・20日
に町内でおこなわれ、T
BSで2月に2時間番組
で放送される予定です。
皆さんご覧ください。

12月6日から26日の21日間の日程で第49回定例会を
開催しました。

専決処分された衆議院総選挙費委託金（1320万
円）を承認したほかに、一般会計補正予算と5特別会
計の増額（合計1億8000万円）、町税条例改正並
びに暴力団排除条例案等7議案、教育委員の任命及び
議会委員会条例改正を含めて合計18議案を慎重に審議
し、いずれも原案通り全員賛成で承認しました。

門前井堰を改修

杉原川の門前井堰（ゴ
ム引布製起伏堰）の穴が
空き、損傷が激しいため、
地元門前・安楽田・東山
の100ヘクタールの耕
作者の皆さんから、数年
前から改修の強い要望を
受けて、「村づくり交付

金事業」として改修費約
1億円でおこないます。

森林整備事業

最近、加美区杉原谷地
区にカシノナガキクイム
シによるナラ枯れが始ま
りました。シカ対策とあ
わせて森林病害虫防除事
業をおこないます。



改修が待たれる門前井堰

第49回多可町議会（12月定例会）採決状況

議案名	山口雄三	秋田清	門脇幸彦	大山由郎	山田政	辻誠一	大西一好	玉壺正明	横山謙造	華別義雄	高瀬繁孝	藤本英三	宮内司	竹本克之
専決処分したものに付き承認を求めることについて（平成24年度一般会計補正予算（第5号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
税の納期及び徴収手続の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
暴力団排除条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
防災会議条例及び災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度診療所事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西脇多可行政事務組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長の専決処分事項に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○印は賛成、×印は反対、欠印は欠席、山口雄三議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。

安全な通学 道路の確保

安全で安心な通学道路
の確保のために、交通安
全施設等整備補助事業で、
用水路に転落防止柵を2
カ所設置します。

快適な生活を

八千代区貴船公共下水
処理場が稼働後15年経過
したので、補修・点検を
おこないます。中区の処
理場は来年度の予定です。

歳出 平成24年度12月補正

款	12月補正	補正後の額
総務費	757万円	15億3408万円
民生費	169万円	27億3895万円
衛生費	218万円	8億2424万円
農林水産業費	1億2075万円	12億0404万円
土木費	861万円	10億9832万円
教育費	282万円	11億6059万円
諸支出金	54万円	3億3832万円
歳出合計	1億4416万円	118億6134万円
特別会計	3559万円	70億0252万円
公営企業会計	30万円	3億3869万円

←補正後の額は
特別会計全会計の
合計です。

*予算金額は補正のあった科目のみです。合計は現予算の総計です。

こんなんでない これどうなってるの

12月定例会での一般質問は
12月20日と21日の2日間にわたって、
10人の議員が行政全般について質問しました。

※内容は次ページからですが、
紙面の都合上カットしている質問もあります。



質問議員	質問内容	掲載ページ
大山由郎	1. 中・高年の就業機会の拡大をはかれ	6
安田昇司	1. 地域協議会の答申を尊重せよ	7
大西一好	1. どう活かす事業仕分け	8
	2. 歴史の拠点としての活用を	
	3. 学校教育の現状の支援は	
山口邦政	1. 安心・安全な給食を目指せ	9
	2. 地域包括ケアをどう進めるか	
門脇幸澄	1. 「婚活結婚支援」体制をつくれ	10
	2. 糞屋ダムの災害対策は	
藤本英三	1. 多可町の道路は安全か	11
高澤榮子	1. 職員の持ち家手当廃止せよ	12
	2. 「学校給食展」の開催を	
	3. 事業仕分けもっと住民の参画を	
竹本克之	1. 地域発信で町の活性化を	13
辻誠一	1. ファーストレスポnderの普及を	14
	2. 安坂、寺内、下野間団地の水道料金を引き下げよ	
草別義雄	1. 住民の幸福につながる予算に	15
	2. 産坂を安全な道路に	

暴力団排除条例を制定

12月の定例会には、暴力団排除条例をはじめ、7件の条例改正案を審査し、いずれも原案の通り可決しています。

暴力団を排除するための住民の協力を規定

この条例は、暴力団の影響力を排除することを目的としています。

住民にも暴力団との繋がりを絶つことを求めており、議会ではその点について論議が集中しました。



昨年10月の住民大会 - 西脇市民会館 -

問 どの人が暴力団員なのか、どの団体が暴力団なのか把握できるのか。住民にはどのように周知をはかりますか。
答 町としては県警に問い合わせをして確認します。

問 町内には何人暴力団員がいるのか。
答 県警に問い合わせしたところ「答えられない」との回答であり、従って把握できていません。
問 住民が自主的に暴力団との関係を絶つための町の支援が規定されているが、具体的にはどのようなことか。
答 情報提供をします。

問 その程度の支援でこの条例を制定したら、住民に大きな負担になるのでは。
答 どのような威圧行為があるのか。暴力団を利用する行為とは具体的にどううかなど、まだ把握し切れていませんが、今後十分調査をして、日頃からどのような行為があるのかを住民に周知します。
問 この条例に反するところがあつた場合、県条例で過料を科すとのことだが、誰が罰せられるのか。
答 暴力団に対して科せられます。

賛成討論

理念から実効性のあるものへ

町をあげて暴力団を排除するという姿勢を示すことが必要であるとの認識から全員賛成で制定することにしました。

高澤榮子

社会全体で暴力団を排除しようとの主旨には賛成です。しかし、暴力団等の定義も法に頼っており、対応は警察任せ。県や関係機関とどう連携していくのが見えてきません。別に定める規則等で、町として主体性のある条例にしてほしい。

前納報奨金廃止へ

住民税等を納期前に納税した場合に支払われていた「前納報奨金」を全員賛成で、2年かけて廃止することにしました。

問 低所得者層でこの制度を利用している住民はどの程度か。
答 若干名です。

その他の条例

●非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定
●防災会議条例及び災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定
右条例は、上位法の改正による文言の修正等です。また、
●町長の専決処分事項に関する条例
●議会委員会条例の一部を改正する条例
を議会として提案し可決決定しています。



大山由郎 議員

問 中・高年の就業機会の拡大をはかれ
答 雇用の拡大に努力する

大山 近年わが国の経済は低迷し、労働者の所得が減少して消費が落ち込み、内需が冷え込むという悪循環に陥っています。

特に中・高齢者の所得の確保が難しく、所得の少ない住民の増加は、必然的に国内需要を減退させます。

退職後の第二の人生を模索し、元気なうちは働きたいと切望している、彼らのキャリアデベロップパーとしての就業の確保は、他人に頼らない「自助」の精神にもつながります。

社会活動に参加し、生きがいを持つために「自助・共助・公助」を適切に組み合わせた社会の仕組みが必要です。これからの「公」の役割は、多様な能力開発の情報を提供し、研修の機会を設け、将来のプログラムを選択できる制度の確立です。きめ細やかな対策を講じ、

中・高齢者の就業機会の拡大をはかるべきです。

町長 企業等に対する国の対策として、高齢者雇用安定法が来月4月に成立することと、60歳定年制が65歳まで雇用延長が義務づけられます。

それ以外の分野では、西脇・多可のシルバー人材センターの活動があり、中高年層者の就業機会提供の大きな場になっています。これをどう拡大していくのかが大きな課題です。また、特産品の開発部門での雇用の拡大、社会福祉協議会における社会参加の部分で、ボランティア活動などそれぞれ能力、特性を生かして活躍いただく選択もあります。

若年層の雇用も厳しいおり、同じパイの中で雇用の奪い合いがないように、中・高齢者のニーズがどこにあるのかわりサーチをして、情報提

供、学習・研修の機会を充実し、更なる雇用の拡大に努力をします。



熟練の技術がものをいう



安田昇司 議員

問 地域協議会の答申を尊重せよ
答 計画策定委員会の答申を尊重

安田 町長が諮問されていた本庁舎等基本計画策定委員会の提言書が平成24年7月答申されました。

大まかにまとめるとこのような答申です。
一 新築とする。
二 生涯学習センター等他の施設との複合化はしない。

三 建設候補地は中央公民館敷地が最適地。

四 供用開始目標は27年度で工事費は約20億円。

これを受けた町長は、この提言書を合併特例法や地方自治法によって設置されている「地域自治区」の審議機関である3区の地域協議会に諮問されました。諮問を受けた3地域協議会は、それぞれで審議された結果を、9月に答申として、それぞれが提出されました。3区それぞれの共通事項が、はっきり打ち出されています。

一 新庁舎は建設すべき。

二 建設位置は、現在の中央公民館敷地では交通安全確保と駐車場確保に無理がある。よって、広々としたアスパル周辺等に考えるべきである。

三 新庁舎だけでなく、中央公民館等の他の公共

施設、また地域局のあり方も総合的に考慮すること。新庁舎だけの単発的な考え方をしないこと。私も、この3地域協議会と全く同じ考え方で加えて、財政的にはどのような手立てをして、い



広い駐車場が必要 - アスパル周辺 -

くらまでの事業費なら投入できるのか財政計画を明示すべきです。
そして、庁舎建設は合併町としては本当に重要な、ある意味では最高の基盤建設でもあるので、これに対応するためには、各行政事務に精通した職員を専任配置すべきで、片手間に兼任でやるべき業務ではないと考えます。町長の庁舎建設への具体的な考え方はいかがですか。

町長 本庁舎等基本計画策定委員会からいただいた答申を尊重して、ワンストップサービスを確保するため庁舎建設を計画します。専任職員は配置せず兼任で対応します。

周辺には金融機関や店舗もあり役場と併せての住民の便宜もはかれます。



大西 一好 議員

問 どう活かす事業仕分け

答 地域全体の意識改革につなげたい

大西 「何のために」税金を使うのかと行政運営の基本の再点検として「事業仕分け」がある。今度の仕分けを経営改善にどのように活かすのか町民仕分け人・判定人が地域の声を活かすことができたか。行政改革推進委員会の役割は何か。

町長

地域全体で自分たちの町の経営を考えるきっかけにしていきたいです。結果については、事業展開で反映できるよう最大限尊重し、予算編成をおこないます。行政改革推進委員会は、各種団体の代表で、仕分けの仕分けになつてはいけません。地域の実情が分からない部分で説明不足のところを補う面でも意見書の提出をしてもらいました。

歴史の拠点としての活用を

大西 妙見山麓に広がる東山古墳群と文化財の展示公開及び、都市と農村の交流施設的那珂ふれあい館のさらなる目的遂行に特化した取り組みが必要であると考えます。

保存資料の有効活用を考える

教育長

一号墳は石室部分の積み直し補強の修復をと考え計画を進めています。文化財の展示スペース不足については、ふれあい館の特色を出すためにも保存資料の有効活用を考えます。調査結果の説明会、勾玉づくり、土器づくり等体験を通して歴史を学んでいただきます。現在、町が保管している出土遺物、民族資料は、整理・保存処理が終わった段階で談話室、研修室を活用して企画展示をします。

学校教育の現状の支援は

大西 経済の落ち込みからくる家庭の状況で、要・準要保護での児童生徒の状況は。また、学習上適応しにくい児童の活動について、中学生の部活動の改善について。

部活動は再検討課題

教育長

24年度要・準要保護者数は全体の10・6%で昨年と同じです。特別に支援が必要な児



親子で楽しむ冒険ひろば - 那珂ふれあい館



山口 邦政 議員

問 安心・安全な給食を目指せ

答 化学物質をできる限り排除

山口 ①長野県真田町では学校給食を食品添加物が少ない食材や無農薬、低農薬の食材に切り替えました。すると、アトピーや不登校の子がいなくなり、非行が消えました。学力も高レベルを維持することができています。真田町のように安心・安全な給食に方向転換しては。②新給食センターにはアレルギー調理室が設置されます。アレルギー対策について従来の対応とどう変わるのか、どこまでの食材に対応していくのか。特に小麦の除去は難しいので米粉を使って対応できないか。

教育長

①従来どおり安全・安心に向けた無添加の食品、国内産の野菜、肉などの使用を継続し、さらに合成食品添加物などの化学物質をできる限り排除する方向で進めていきます。②基本的には従来と変わ



完成間近な給食センター

地域包括ケアをどう進めるか

山口 国は2025年の将来像を示し、地域包括ケアシステムの推進を打ち出しました。これは、30分以内で駆けつけられる圏内でのケアを目指し

包括支援センターを核に連携

町長

国の提示している方針には、現在の予算規模で対応可能なものはほぼ提供できていると思います。本年9月からは毎月、地域包括ケアの担い手の方々を中心としたネットワークミーティングを開催し、連携を深めています。

防災監

松浦院長は患者さんの医療福祉ニーズを総合的にサポートする地域医療支援センター、総合診療科の設置、訪問看護実施など、着実にアイデアを実行されています。さらに連携を深めながら、取り組みを検討していきます。



門脇幸澄議員

問 「婚活結婚支援」体制をつくれ

答 婚活支援に力を入れる

門脇 多可町は1年間で約300人が減少し続けており、35〜50歳までの未婚者は約650人もおられます。しかも、晩婚化と非婚化が少子高齢化に拍車をかけています。「婚活結婚支援を新しい公共サービスの一つ」として位置づけ、結婚、子育てを町が支援していくことが重要です。

①今年度の5つの婚活応援事業の達成状況は。
 ②縁結びアドバイザーの養成と組織化はやめたのか。
 ③出会いの場づくりは何回やったのか。また結婚祝金を増額すべきだ。
 ④「子育て環境づくり条例」と企業の表彰制度をつくれ。
 ⑤第2子からの保育料を無料化し、全国にアピールを。
 ⑥小6または中3までの医療費を無料化しては。

町長 ①5つの事業は未達成ですが、今年度はTBSの婚活イベントに集約します。
 ②縁結びサポート推進員の組織化はできていません。
 ③民間の事業へ3回補助金を出しました。結婚祝金の増額は検討します。
 ④子育て支援をした企業の表彰制度は検討します。
 ⑤第2子からの保育料無料化は検討課題とします。
 ⑥中3までの医療費の無料化は検討します。

門脇 台風や大雨の際、糞屋ダムの貯水量が限界に近づいた時、ダムの水はどうするのか。また放流する時、仕出原川下流の住民への警告サイレンの仕方や避難対策は。県が9月におこなったこの地域の浸水想定調査

糞屋ダムの災害対策は

はどうだったのですか。またそれらは地域住民へどう知らせるのですか。さらに、糞屋ダムはどのくらいの震度に耐えられるのですか。

緊急放流の予定はない

抜監 糞屋ダムは有効貯水能力が1330万トンの農業用水のため利水ダムで、原則的には河川に緊急放流



わくわく・ドキドキ プレゼント - キッズランドかみ -

はないダムで、満水になった場合は自然越流します。その場合は、ダム管理事務所から関係機関へ1時間前に連絡され、10分前に5分間、5カ所でスピーカーと広報車で該当地域へ知らされます。浸水想定区域の調査は12月に完了し、ダムの耐震性の評価は25年度に着手される予定です。



藤本英三議員

問 多可町の道路は安全か

答 安全第一と考えている



老朽化が進む熊野部の歩道

藤本 このたび、中央道笹子トンネル（開通40年）崩落事故では、9人の貴い命が失われました。本町には、町道・県道合わせて8本のトンネルがあります。一番古いトンネルは県道では中区の小野尻坂トンネルで、開通34年経っています。町道では八千代区の桑坂トンネルで、はや27年も経過しています。笹子トンネルと違い（工法・距離・交通量・気象状況）

耐用年数は長いとは思いますが、点検は実施されていますか。トンネルよりも橋梁の方が危険ではないかと思われまます。橋は車の負荷がかかっており、また洪水の際に橋脚が水に洗われ、耐用年数も短いと思います。県道ですが、中区の中村町と岸上を結んでいます。渡良瀬橋は戦前の昭和13年に開通しており、なんと74年も経過しています。築50年以上経っ

ている橋が、町内でも森本橋ほか数多くあります。22・23年で125橋を600万円で点検業務を委託されましたが、その結果と今後の点検計画のスケジュールはどのようになっているのですか。町内の道路は絶対安全な道路ですか。もし仮に、道路施設管理ミスで事故でも起これば、町として対応はどのように考えておられますか。

町長 橋梁に関して順次点検をおこなっており、今年度で212橋の点検を終え、25年度に残り215橋の点検と、橋梁の長寿命化修繕計画の策定を予定し、適切な時期に修繕や更新をおこなうことで総予算の低減と予算の平準化をはかっています。

建設課長 熊野部の歩道は、橋脚の部分を中心に巻立てのコンクリートで近々予定しています。また、糞屋の楓歩道橋については、学校・地元・教育委員会・見守り隊等で協議して、撤去したいと考えています。

総務課長 多可町では合賠償補償保険に加入していますので、それにより対応します。

副町長 危険な橋について、通行止めや重量制限をかけ、安全第一を考えています。

抜監 県管理のトンネルは、定期点検が実施されています。町管理のトンネルは、今



高澤 榮子 議員

問 職員の持ち家手当廃止せよ

答 廃止に向け組合と交渉中

高澤 住居を所有し、かつ世帯主である職員には、いわゆる持ち家手当が支給されていますが、住民には理解しがたい制度です。
国はすでに廃止。兵庫県でも県人事委員会が、この10月、現行の月額1600円を500円に引き下げたうえで、来年度から廃止すべきと、知事と県議会議長に勧告しました。町も廃止すべきです。現状と廃止へ向けての動きは。

町長

対象は106名で、月額1600円を支給していますが、3500円から徐々に下げてはきましたが、現在、廃止に向け、鋭意交渉中です。

「学校給食展」の開催を

高澤 学校教育の一環として実施されている給食。3年前からは、その目的が「食育の推進」を

重視したものになりました。

4月からは新しい「給食センター」が稼働を始めます。これを機会に、地域の人や子どもたち、保護者等みんなで、「食」や「農」教育、子どもたちの健康を考える場、情報提供の場として、「学校給食展」を開催してはどうですか。

来年度から実施します

教育長 新給食センターの完成を機に、学校給食をより充実させ、食育をより一層進めていきます。

「学校給食展」は早い時期に実施、食の大切さ、食の安全・安心について考える機会としたいです。

事業仕分けを住民の参画を

高澤 事業仕分けについては、相当の費用（事業につき有に30万円）

と労力、つまり、税金を使つての事業だとの認識が必要で、費用対効果の面からも、事業の選定から事後の検証まで、問題点や課題をきちんと整理しておく必要があります。

事業選定では、すでに廃止を決めている事業を選ばない不透明なところもみられました。事業の選定段階から、住民を参画させてはどうですか。今後は、事業仕分けを行政の中でどう位置づけ、どう反映させていくのか

行政改革のツールに

町長 職員の意識改革では進展。一定の達成感を得られたと思いますが、予算への反映等、本当の評価は次年度以降だと思っています。

住民への説明や事業選定のあり方は課題でもあり反省点で、より多くの住民が参加できるしくみをつくる必要があると思っています。



廃止・見直し・現状維持 - 事業仕分け -

評価と課題について問います。



竹本 克之 議員

問 地域発信で町の活性化を

答 ICT時代に即した発信を実行

竹本 多可町は酒米・敬老の日・杉原紙の発祥の地が「ふるさと自慢」の代表で、景観では棚田があり、特産品もたくさん開発されて他所に類を見ない恵まれた町といえます。

町ではホームページやフェイスブックを他に先駆けて活用した、地域発信がされていることに敬意を表します。

ところが、現状は多可町の認知度は低い状況と言わざるを得ません。今後の対策を伺います。

多くの自治体が大河ドラマの誘致や、地域発信型映画の作成と並々ならぬ努力が払われており、多可町においては、TBSの「お見合い大作戦」の全国放映が企画され、その発信力と放映後の婚活対策に期待は大きく、町長の考えを伺います。

また多可赤十字病院による地域医療の発信が期待されますが、今後のこ

のような発信課題を伺います。

町長

ふるさと自慢T（※）のツールを使って広く情報発信をしていきます。

これはPRのみならず、住民が自らの町の良さに気づき共有し、村づくりに進展する効果があると思います。

次回のTBSの婚活番組は多可町で、と放映された後、全国の方から多可町は美しいと連絡が入りました。TVMメディアの凄さを認識しました。

2月のゴールデンタイムに放映されますが、多可町の美しさ・良さを全面に出せるよう撮影協力を惜しみません。

今後も結婚支援事業を継続しますので、一人でも多くの方が前に出て、自主的・積極的にこの事業に参加いただけることを期待します。横につなげていく中で

フェイスブックのページに「婚活ページ」も検討します。

地域医療についても総合的にとらえて発信していきます。



情報発信中 - 総務課 -

※SNSとは

ソーシャルネットワーク・キングサービスの略。インターネット上でコミュニケーション（共同体）を形成し、会員同士がさまざまな形でコミュニケーション（交流）ができる会員制サービス。

※ICTとは

ICTは「情報通信技術」の略であり、ITとほぼ同義の意味を持つ。国際的にICTが定着している。



辻 誠一 議員

問 ファーストレスポンスの普及を

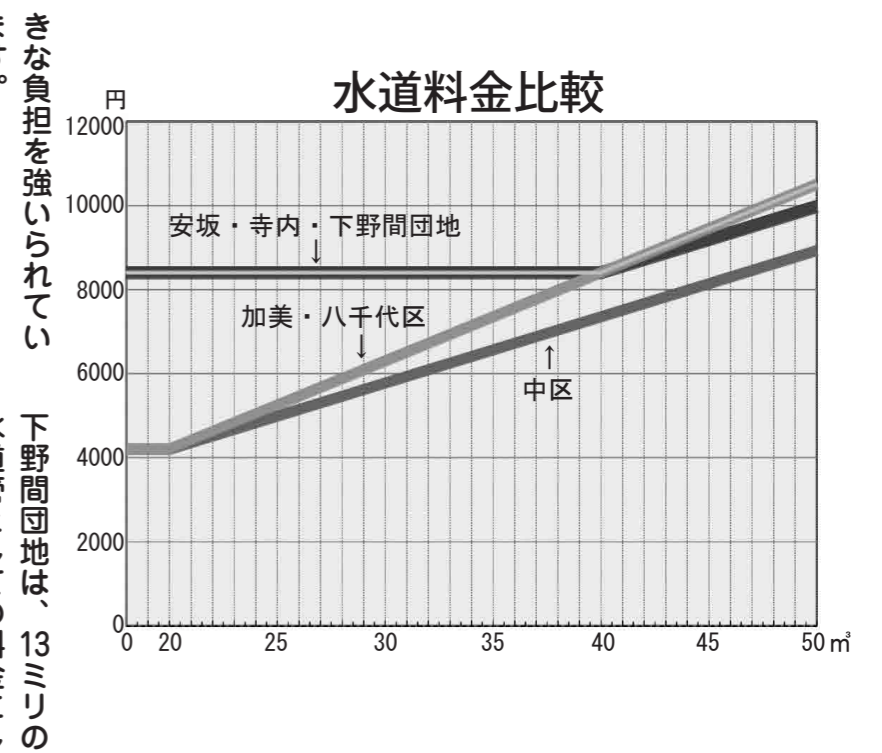
答 現在の取り組みを一步進めるよう検討する

辻 多可町には、救急通報から救急車が到達するまでに要する時間が全国平均を上回る集落が昼間でも9集落、夜間の場合は28集落あります。10分以上かかる集落も14集落もあり、一番時間がかかる集落では、通報後19分6秒後に救急車が到着します。心肺蘇生法等の応急手当ての有無が救命率を大きく左右するとは周知の事実です。幸い町内には、多くのAEDが準備をされています。例えば、身近な人が救急車が到着するまでのこの十数分間にAEDを持って駆けつけて応急手当てをしてくれる、あるいは心肺停止状態でなくても、知識のある人、隣人が応急手当てをしてくれる、こういうことになれば、より安心して暮らし続けることができる町になります。

町長 ファーストレスポンスは、救急車が到着するまでの間にいち早くその現場に向かい、的確な救急活動をおこなうことが要求をされます。引き続き救急ボランティア「勇気」による心肺蘇生法やAEDの講習の推進、また防災士に必須の普通救命講習などの研修会を開催し、一人でも多くの皆さんに参加いただき、救命活動の担い手になっていただくような方向での検討課題とします。

安坂・寺内・下野間団地の水道料金を引き下げよ

辻 住宅の多くは13ミリの水道管が布設をされていますが、安坂・寺内・下野間団地は20ミリの水道管が使用されています。水道管の違いで、これら団地の入居者は大変大



きな負担を強いられています。例えば、2カ月で基本水量である20m³の水を使用した場合、その水道料金は2カ月で4200円になるのが普通ですが、安坂、寺内、下野間団地の水道料金は2カ月で8400円にもなります。水道料金の設定に特例を設けて、安坂、寺内、

課題は多いが前向きに検討する

町長 県営から町営になるなか水道料金をなんとか、という希望を持たれていることは理解できます。検討させていただきます。



草別 義雄 議員

問 住民の幸福につながる予算に

答 最小の経費で最大の効果を上げる予算を編成

草別 ①新庁舎は、中央公民館の場所に建て、中央公民館を生涯学習センターとして別の場所に建設する計画ですが、このセンターをどうしても設置する必要があるのだろうかと思います。今、住民は水道料金を節約しなければ、というようなところまで生活が困窮しています。このような中、この計画は無駄遣いではありませんか。住民への説明は十分にされますか。②合併後7年間で費やした一般会計の予算は、700億円以上になります。しかし、合併して良かったと思える部分がありません。せめて集落要望は100%実施されませんか。③庁舎内の情報化（IT化）がされていますが、その経費を積み上げると膨大な額になります。十分に検証し、経費の無駄をなくすようにしていた

町長 次年度予算は、経費を削減するべく、集中改革プランの実行、事業仕分け、事務事業評価の結果を踏まえ予算計上します。①庁舎の建設は、基本的には25年度の当初予算に計上すべく、基本計画原案を作成し、住民説明会を実施します。場合によっては、住民の意見を受けて修正もします。②集落要望の関係は、例えば次年度は487の要望がありました。採択、あるいは次年度以降の対応、もしくは不採択や地元対応等の判断をします。採択した事業は、全額を勘案しながら予算編成をします。③最少の経費で最大の効果を上げていくという町の予算編成の基本方針に基づき、議員のご意見も配慮して予算編成させていただきます。

産坂を安全な道路に

草別 県道多可北条線の産坂を安全な道路にするため、歩道の設置や道路の拡幅が必要です。事業着手を重ねて県に要望する

救監 県の北播磨社会基盤整備プログラムでは、歩道設置や



危険な産坂

地域の特色を活かせ

— 鳥取県日南町・琴浦町へ —

本町舎等の検討、再生可能エネルギーなどの研究を進めている当議会は、再生可能エネルギーの利用を進めている日南町、庁舎を新築中の琴浦町へ視察研修にいきました。

日南町 再生エネルギーの活用

この町はすでに小水力発電を稼働させ、年間277万KWh、約630世帯分の電力を発電し、これに家庭用ソーラー発電50世帯を加えると、町内31・9%が再生可能エネルギーで賄われています。また、小水力・マイクログ水力発電についても、町内6カ所の調査も年度内に実施されます。太陽光発電は町営の、「石見東太陽光発電所」の建設に着手しています。

なお、ソーラーパネルの建設費の一部を町民に負担してもらい、再生エネルギーへの関心を高めるとともに、町の財源に

も役立てようと「再生エネルギー町民債」も発行。一挙両得のアイデアは全国的にも広がっています。

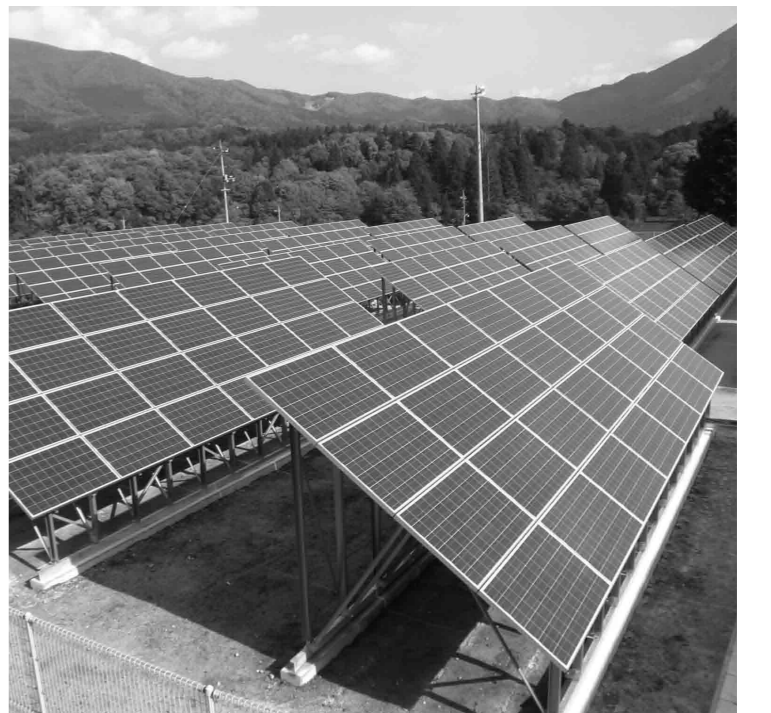
林業の町、アピール

木造平屋建て一部鉄筋コンクリート2階建ての庁舎は、延べ3400㎡。森林が町面積の9割を占める同町は、林業の町をアピールするため、町内産材木を使用。県西部地震による教訓から、防災拠点となる会議室や防災無線も備え、全館パリアフリー化されています。そして、災害時の避難所となるロビーには、床下暖房が完備され、多くの住民が暖かく避難できると配慮されています。樹齢250年以上とされる直径約1mの2本の杉柱がそびえ立っています。

琴浦町 本庁舎方式から分庁舎方式へ

合併協議会では機能を1カ所に統合する「本庁舎方式」にすることが決まっていますが、防災機能の分散化、町全体の均衡ある地域経済の発展のため「分庁舎方式」で、現本庁舎（旧東伯町役場）の位置に新築することになりました。

新庁舎は鉄筋コンク



廃校跡に設置されたソーラーパネル — 日南町 —

地域医療の勉強会を開催



熱いおもいを語る松浦院長

12月5日に委員会で、多可赤十字病院の松浦院長を招いて「地域で暮らし、地域で支えあう」これからの地域ケア基盤を「考える」のテーマで講演をしていただきました。

多可町の75歳以上の人口は平成23年度末で15・4%（3643人）でした。将来人口推計によりますと、平成42年度末には25・3%（4639人）に増加する試算が出

ています。委員会では超高齢化社会に向けて医療・福祉・地域社会の有り方が重要な課題となってきたことから、地域医療について経験・実績のある院長のお話を聞くことにしました。

講演の中で松浦院長は、地域包括ケアの社会的目標は「生を受け、生涯を終えるまで、安心してすみ続けることができる地域づくり」とされ、住民の健康度を向上す

る
◎早世（若死に）を防止する
◎障がいを抱えていても社会参加ができる
◎健康寿命を延伸する
◎老後も可能な限り在宅生活を可能にする
◎医療的ニーズの高い重度要介護者の医療・ケアのミックスゾーンを形成する、等の基盤づくりが必要と話されました。
また、院長が淡路島の五色町診療所時代に取組まれた包括的地域医療について、徹底した住民の健康管理、保健・医療・福祉のネットワーク形成、子ども・一般住民・患者の学習活動、子育て支援・障がい者支援などの様子を当時の写真を見ながら説明を受けました。

ア施設・介護事業所・障がい者施設などが連携していくことが必要だ。そのため、地域包括ネットワークづくりに力を入れていく必要がある」と話されました。すでに9月より院長の働きかけで、地域包括ケアネットワーク会議がスタートしています。
今回の講演を聞き地域ケアを充実させることが、新しい町づくりそのものだ」と再認識しました。

森林基幹道を視察

10月31日に森林基幹道の内、多可町部分の現場視察をおこないました。この道路は県の播磨中部高原森林基幹道の一部で、多可町内は八千代区上三原から尾根沿いに千ヶ峰、三国岳を経由して朝来市黒川地区を結ぶ林道です。林業生産性の向上を目指して工事が進められています。

身近な議会をめざして

— 第4回議会報告会を開催 —

町内3カ所で開催

議会が見えない、何をしているか分からないという声に応えるべく「議会報告会・懇談会」を11月17・19・20日に第4回目を実施しました。報告項目は次の通りです。

予算決算特別委員会

① 23年度決算状況についての報告

総務文教常任委員会

① 16指定管理施設管理料の改善

② 結婚応援事業

③ ラベンダーパーク整備

④ なごみの里チップポイラーの導入

⑤ まちの駅たかの新設

⑥ 多可町特産品販売サイト新設

⑦ アスピア学園施設利用

生活環境建設常任委員会

① 台風12号関連災害復旧状況

② 台風関連残事業等

③ 本人通知制度について

(住民票・戸籍謄本などを第三者、代理人に交付

した場合、取られた人に交付したことの通知をする制度です)等についての報告しました。

出席者アンケート

① 庁舎の場所は検討を要す。
② 公共施設の全体構想を明確にするべき。

第一部懇談会意見

① 新築はやむを得ない。
② ワンストップサービスにすると、何か起こったときには役場機能がマヒする。

議会としての総括

◎ 出席者減は興味関心のある議会となっていない。

◎ 年に2回とし、1回は区別に実施、1回は各種団体との希望による懇談会として試行する。

今日まで改善に改善を重ねてきましたが、議会報告会への参加人数が少ないのは、日々の活動が見えていないからではないかと理解しています。

議会関係の情報提供は

- ① たかテレビ放映
- ② インターネット放映
- ③ 議会だより
- ④ 議会ホームページ
- ⑤ 議会傍聴等で情報提供をしています。



第4回議会報告会 — 八千代プラザ —

議会改革・町への要望・意見

議会報告会でいただいた意見や要望の中から、7項目について町長に対して要望書を提出しました。町からの回答を要約して掲載します。(全文を知りたい方は、議会HPをご覧ください)

要望及び質問と回答

① 採算のとれていない公共施設のあり方について

問 ハーモニーパークの風力発電施設は年間180万円の維持管理料が必要で、施設を廃止して経費の削減をはかるべき。

答 自然活用型の施設については、今後採算へいすだけでなく、地球環境の保護等お金には換金できないが、絶対必要な事業であることも考えねばなりません。風車は国庫補助事業として設置しており、撤去や運用停止には相応の手続きがあるものと思われる。公共施設全般については採算性のない施設、目的を果たしてしまった施設、目的外

の利用をしている施設、地元貢献度の低い施設は、十分確認の上、廃止も含めて整理統合していく。

② 多可町の名を広める施策の実施について

問 兵庫県内でも多可町の名は知れわたっていない。もっと多可町をPRする施策が必要である。

答 合併した町の弱点はネームバリューの不足です。多可町という名を発信していくために、広範な情報探索にあたりたいと思います。他方、FB良品TAKAも利用し知名度アップをしていく。

③ 本庁舎等公共施設のあり方について

問 本庁舎等公共施設のあり方について、貴重な財源を利用する事業で

あるので本庁舎建設だけでなく、町民が理解、納得する総合的な公共施設の将来構想を描き、起債の返済方法を提示してから進めるべきだ。

答 本庁舎等基本計画策定委員会の提言内容については、町のホームページで公開しており、財政状況については不安要素にはならないと考えている。本庁舎の基本計画について住民説明会をおこなう際には、中期の財政計画を含めた説明を予定しています。

④ 交通安全対策について

問 仕出原地内の旧県道において、朝の通勤時間帯に通行する車両が非常に多く、交通量を減らす対策をとってほしい。

答 指摘の地区では既にPTAが中心となり注意呼びかけの看板を設置しています。防災無線でも通勤時の車両通行自粛を呼びかけています。今後、必要な対策を検討し

具体的に対応したい。

⑤ 糞屋ダム放流時の連絡体制について

問 糞屋ダムの水を放流する際に、ダム管理者と町が連絡をとり、防災行政無線等で非難を呼びかける避難行動マニュアルが作成されているのか。作成されているのであれば公表すべきである。

答 原則的に放流はありませんが、満水時に自然超流します。その場合には、1時間前に規定の関係機関に連絡し、10分前にはスピーカーや広報車により知らせます。今後更に管理事務所に対して的確な対応を要望する。

⑥ 糞屋ダムの耐震について

問 地震で糞屋ダムがどれくらい耐えられるのか公表すべきである。もし、大きな地震に耐えられない場合は、早急に耐震補強工事を実施していただきたい。

答 近畿農政局では今年

度から施設の健全性調査に着手されており、25年度には耐震性能の評価が実施される予定です。この評価で耐震補強の必要な箇所が確認されたら、補強工事が実施されることになるかと確認している。

⑦ 仕出原川浸水想定図の公表について

問 洪水時には仕出原川大和川、野間川合流地点の水位が上がり、浸水する可能性がある。今年の9月ごろに県が浸水想定調査を実施されたと聞いているが、住民が避難する際の基準となるので早急に調査結果を公表していただきたい。

答 年内に浸水想定区域図の作成作業が完了する見込みです。公表については県のホームページ上にて公表されている「C6ガードマップ」を25年6月までに更新することになっています。町の「防災マップ」に反映するように進めます。